

B118		観光人類学	
英名科目名	Tourist Anthropology		
大学名	平安女学院大学		
連絡先	京都キャンパス 教務チーム TEL 075-414-8160 FAX 075-414-1150		
担当教員	高橋 義人		
開講期間	2021年10月04日(月)～2022年01月31日(月) 3講時 12時25分～13時55分(毎週月曜日) 講義休止期間2021年12月28日(火)～2022年01月04日(火)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	京都キャンパス		
授業定員	70		
単位互換生定員	15	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	授業参加度50% 期末試験50% 合計100% 本やネットを丸写ししたレポートは認めない。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	40,000円(登録料10,000円別途必要)		
別途負担費用			
その他特記事項	女子のみ受講可		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
<p>【講義概要】 「ヨーロッパの祭りや古代ゲルマン信仰」がテーマ。ヨーロッパの一部には、キリスト教以前に由来する太古の祭りがいまだに残っている。観光人類学の対象となるこれらの祭りを訪ね、キリスト教以前の古代ゲルマン信仰を探る。 かつてヨーロッパで一年は冬と夏に二分されていて春や秋はなかった。ヨーロッパでは今でもサンタクロース(聖ニコラウス)は12月25日ではなく、12月6日にやってくる。 本授業では、聖マーティン祭から聖ニコラウス祭・クリスマスを経て、カーニバルや復活祭や五月祭にいたるさまざまな祭りを考察しながら、これらの祭りがじつはキリスト教の祭りではなく、古代ゲルマン信仰に起源を有する太古の習俗であることを明らかにする。そしてこれらが習俗と日本の「なまはげ」や節分祭と親縁関係を持っていることを解明する。</p> <p>【到達目標】 日本とヨーロッパの祭りの基本精神がじつはきわめて近い親縁関係にあること、両者のルーツはじつは農耕儀礼にあることを知り、ヨーロッパを少しでもこれまでとは違った姿で見る眼を養うこと。</p>			
講義スケジュール			
第01回 観光人類学とは何か 第02回 聖マーティン祭 第03回 ハロウィン 第04回 聖ニコラウス祭 第05回 動植物への変身 第06回 なまはげと節分祭 第07回 ペルヒタ行進 第08回 グリム童話「ホレおばさん」と女神ホルダ 第09回 待降節 第10回 クリスマス・マーケット 第11回 クリスマスツリー 第12回 ドイツ・スイスのカーニバル 第13回 ヴェネツィアのカーニバル 第14回 復活祭 第15回 五月祭とグリム童話「赤ずきん」			
教科書	なし		
参考書	芳賀日出男・高橋義人(共著)『ヨーロッパ古層の異人たち』(東京書籍 2003年)		